令和7年度 竹田教育事務所 実践事例の紹介

学校評価年間計画の明確化

竹田市立南部小学校(児童数:161名)

「OODA(ウーダ)ループ型検証改善シート」の活用

Point 1 PT会議での短期の検証・改善サイクルの構築
Point 2 現状を可視化し、全教職員で共有して取組を把握

Observe

(観察・把握)

<mark>次の検証シートへ</mark>

Orient

(分析・仮説)

Decide (決定) Act (実行)

<目標達成に係る取組・

進捗状況確認シート>の内容 (生徒指導PT) 5月 シートNo.1

- ・客観的な情報取集
- ・取組状況や児童の実態な どの現状把握
- ○あいさつに関してのアンケート
- ①相手を見る・・・ 69%
- ②お辞儀をする・・・53%
- ③元気な声で・・・ 62%
- ○時間を守る…休み時間後に、早く 教室に入るようになった。
- ○人間関係づくりプログラム…楽しく スタートできている。 次の検証シートへ

- ・情報分析(現状はなぜか)
- ・観察をもとに現状どうすれば改善できるか仮説を立てる。
- ○あいさつに関して「お辞儀」の検証
- ・お辞儀をすることの日常化が課題
- ・授業の始めと終わりの「礼」がきちんとできているか
- ○人間関係づくりプログラム…授業 の中でもいかせたら

- ・仮説の中から、改善策を決定 ・具体策の決定などの意思決定
- ○授業の始めと終わりの「礼」を きちんとさせる。
- ○あいさつで名前があがってい る子を集会時に知らせる
- ○授業の伝え合いの中でも「うなずきながら」「お願いします」「にこにで、 こにこ笑顔」を活用してほしい。

短期の 検証サイクルで 速やかに改善

・実行・仮説の検証 ・改善策を実行し、次のループ にいかす

児童が抱えている課題について<mark>タイムリーに検証し、迅速に対応策</mark>を 講じ、状況改善に努めることができる。

「取組・達成状況判断シート」での検証

各PTの取組(状況) が<mark>可視化</mark>されて わかりやすい。 (シートを活用し)月末 に振り返ることで、<mark>常に 意識して取り組む</mark>よう になった。 ■ Point 1 毎月の取組状況の振り返りで、現状を可視化

■ <u>Point 2</u> 各授業者がデータを入力することで、PT会議がスムーズに

学力向上PT(1学期)

(章己評価による歌組状況

(印度策のはじめの音楽器に取り組んだ。

「取組指標」の

項目について

毎月自己評価

③自己評価による取組状況	4月	5.A	6,6	7月	1学期
①投資のはじめの音読書に取り組んだ。	3.53	3.67	3.89	3.86	3.76
②授業の中に「賽く活動」を位置づけた。	3.46	3.43	3.71	3.57	3.54
③国語視写に取り担んだ。	3.83	3.83	3.67	4.00	3.83
(4)解放計算でラソンに取り組んだ。	4.00	3.83	3.83	4.00	3.92
⑤思に]目以上披架プリント、作文(日記)、自学に取り越ませた。	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
衛毎日「音號」「漢字」に取り組ませた。	3.86	4.00	4.00	4.00	3.96
月每平均	3.80	3.79	3.85	3.89	3.84